

平成 29 年 10 月 25 日

平成 29 年度県外学校視察報告書

教諭 鈴木 春 英
教諭 内海 宜 之

1 平成 29 年度秋田県南地区県外校視察について (ねらい)

秋田県南の横手・湯沢地域で、本校と同様に普通科と商業系・情報系を有して実績を上げている高校を訪問し、学習指導面・進路指導面・生徒指導面を中心に、各学校での取り組み内容を詳しく視察した。

学習指導面では、商業系および情報系の科目配置など教育課程の編成について、また学力向上対策や各種検定資格の取り組み状況についてうかがった。進路指導面については、どの学校も国公立大学進学実績があり、その一方で就職希望者も約半数いる状況は本校と一致する部分であり、進学指導および就職指導での具体的な進め方についてうかがった。生徒指導面では、挨拶習慣や基本的生活習慣の定着への指導法と、各校とも全国レベルで活躍している部活動の指導法についても確認した。

2 各学校の取り組みについて

(1) 秋田県立平成高等学校

訪問日時 平成 29 年 9 月 26 日 (火) 13:30~15:30

応対者 校長 難波文彦 先生
教頭 鍛冶 実 先生
教務主任 高橋明夫 先生
進路指導主事 高橋雅典 先生
商業科長 照井雅孝 先生

① 学校概要

平成 24 年創立。横手市にある、各学年 3 学級全校生徒 300 人弱の、本校と同規模校である。普通科 2 クラス総合ビジネス科 1 クラスあり、学科改変前の本校の教育課程と類似している点が多い。「日日新 又日新」を校訓に、平成 29 年度入試では、弘前大学理工学部 (自己推薦)、秋田県立大学生物資源学部 (公募制推薦)、北海道教育大学教育学部 (公募制推薦) に合格している。学年の約半数が進学希望で、約半数が就職希望である点も本校の状況に類似している。横手高、城南高、横手清陵中高に続く、地域 4 番手である。

校内では、生徒からの大きな声で挨拶が印象的で、制服についても良く着こなすことができていた。部活動では、男子バスケットボール部が能代工業の県内連続優勝を止めた学校としても有名であり、その他野球部や相撲部、吹奏楽部、商業部を始め活発に活動しているとのことであった。

② 視察内容

i 校内見学

綺麗に掃除された校舎で、生徒の挨拶が活発であった。特別教室棟と普通教室棟の中心にホールがあり、学年規模の集会等に利用しているとのこと、機能的な造りが印象的な校舎である。40 台の PC 教室が 2 室あり、実習が時間割に制限をあまり受けない。

ii 質疑応答

a 教育課程・学習指導について

ア 普通科 2 クラスおよび総合ビジネス科 1 クラスの、1 学年 3 クラス編成

イ 普通科 2 クラス・・・1・2 年は共通履修で、3 年で人文・理数・専修のコースに分けて実施

【人文】英語科科目を 9 単位・国語科科目 5 単位の大単位を割り当てている。

【理数】数学科の数Ⅲと理科科目 6 単位 (化学Ⅱと生物Ⅱ物理Ⅱの選択) が特徴。

※看護系希望の生徒には人文を選択させ、理数は受験で数Ⅲを使う生徒が中心

【専修】商業科情報処理の履修で就職者に対応とのこと。

ウ 総合ビジネス科 1 クラス・・・1 年が共通履修で 2・3 年が会計コース・情報コースに分けて実施

【会計】1 年の簿記をもとに 2 学年までに全商簿記 1 級を目指す。

【情報】1 年の情報処理をもとに 2 学年までに全商情報処理 1 級を目指す。

商業科教員は 5 人+非常勤 1 名。平成 23 年まで商業科 2 クラスあった。

総合ビジネス: 会計 (12, 3 名)、情報 (20 余名) を指導している。

情報ビジネス：T Tを行う。情報の科目は、数学・国語や教頭先生もT 2に入る。

資格：日商簿記2級・全商簿記1級・I Tパスポート。放課後、土日、冬休みに補習。

エ 全クラスの黒板左上に「本時の目標」のラミネート加工された張り紙があり、各時間で目標を明確化。

オ 総合ビジネス科3年の課題研究において、地域連携の授業を展開。

- ・地域の方へのP C講座実施
- ・地域イベントでの販売実習の実施
- ・地域企業の協力による商品開発案の提案とその販売

b 進路指導

カ 普通科・総合ビジネス科を問わず、進学および就職への進路希望に対応。学年中心で指導。

キ 普通科における進学指導

- ・国公立大学等を目指す生徒は、入試の点数を元に声掛けを行い、入学段階から個別指導を実施。
- ・上記個別指導は、1・2年は月1回の土曜講習が中心、3年は部活終了から平日課外で対応する。
- ・長期休業中の課外講習の実施（前期は4日程度を全員対象、後期は希望者対象）
- ・入試方法は、95%が自己推薦AOか公募推薦で、「一般受験まで行くということは進学指導の失敗である」とのお話は印象的。
- ・推薦入試のポイントとなる小論文指導は、国語科中心に必要な生徒を割り振って行っている。

ク 総合ビジネス科における進学指導

- ・個別指導等の基本的な方法は普通科と同様。
- ・資格推薦における国公立大学合格も含み指導をしている。（福島大経済学部等）

ケ 普通科・総合ビジネス科共通就職指導

- ・面接指導は、全教員で担当を割り振って行っている。
- ・地域ロータリークラブの方に8月下旬、面接練習の総仕上げをしてもらっている。

c 生徒指導

コ 携帯電話は、登校時に昇降口で学年毎に教員が預かり、帰りのSHRで返却。

サ 女子生徒のスカート丈など制服着こなしがしっかりしている（整容指導）。

シ バスケ部・野球部等が率先して挨拶を行い、全校生徒をけん引しているとの印象。

(2) 秋田県立雄物川高等学校

訪問日時 平成29年9月27日（水）9：30～11：30

応対者 校長 信田 正之 先生

教頭 猿橋 薫 先生

教務主任 伊藤 胡子 先生

進路指導主事 岡本 和範 先生

① 学校概要

秋田県南横手地域の西端にあり、横手市中心部への通学の不便さにより、地域からの要望で開校した学校で、創立66年目を迎えた。普通科3クラスの単科の学校であるが、入学時に就職・専門・短大希望のA・B組か、4年制大学希望のC組かの希望を取り、クラス編成を行う。2年からは、会計情報コース・ビジネスコース・生活福祉コース・特別進学コースへと4コースに分かれる。全校生徒は約300名で定員割れをしており、生徒の学力差が大きく、特別支援が必要な生徒も入学する。

開校当初から、男子バレーボール部を中心とした部活動の学校というコンセプトがあり、男子バレーボール部専用寄宿舎を建て、顧問としてOBで元日本代表宇佐美選手を招聘する等、県、地域、学校全体がバックアップしている。宇佐美先生の指導を受けたいとの希望で関東からも入学者がいる。その他にも吹奏楽部や、普通高校ながら家庭クラブ等が東北大会出場などの優秀な成績を残している。

近隣の秋田県立明峰中学校と連携会議を持つほか、生徒が8月の豪雨災害の復旧ボランティアに参加するなど、生徒・先生方ともに地域のために頑張ろうという意識が強い。地元も学校を支えるべく、同窓生からバスの寄贈があった。

② 視察内容

i 校内見学

広い敷地に桜の木が植樹され、校舎中心にあるコモンホールを中心とした機能的な校舎で、生徒が気持ちのよい挨拶で迎えてくれた。

ii 質疑応答内容

a 教育課程・学習指導について

ア 普通科1学年3クラス、1年は共通履修（ただし進路希望によるクラス編成を実施）

2・3年は会計情報コース、ビジネスコース、生活福祉コース、特別進学コースからコース選択する。

イ 各コースの概要は以下のとおり（同校ホームページより抜粋 http://omonogawa-hs.com/htdocs/?page_id=13）

特別進学コース

【国公立大学も視野に】

*四年制大学、短期大学、高等看護学校、公務員を希望する生徒で構成されます。

*進路希望（文系、理系）に応じて国語、数学の単位数が上下したり、地歴・公民（社会）、理科の選択が細かく行われたりします。

*週2回「7校時授業」のほか、補習、土曜日学習会、勉強合宿等を実施、自分に合った学習スタイルを見つけられます。

*補習用教室は冷房完備、夏休み中も快適に学習できます。

会計情報コース

【ワープロ・簿記等資格取得に向けて】→希望者は少ないが核になる生徒

*就職、専門学校進学を希望する生徒で構成されます。

*商業科目の単位数が多く、簿記検定、情報処理検定、ビジネス文書実務検定などの検定に積極的に挑戦しています。（一人3つは取得を目指す）

*検定対策としての直前補習も活発に行っています。

ビジネスコース・生活福祉コース

【幅広い教養を求めて】→JRC、家庭クラブでも活躍

*就職、専門学校進学を希望する生徒で構成されます。

*家庭・福祉系と商業系の選択で、少人数による専門学習が可能です。

*家庭・福祉系授業では外部講師による授業や施設訪問を積極的に行っています。

*家庭科調理技術検定、ビジネス文書検定、情報処理検定などの資格取得に取り組んでいます。

（一部改変）

ウ 特進コース文理内訳 文系17人・理系12名・計20名、ビジネス40名・生活福祉20名

エ 数学で少人数クラスでの授業実施

オ 基礎学力の定着のため、朝学習の時間を活用している。生徒は8：10までに登校し、SHR開始8：40までの時間を朝学習の時間として、小テスト・読書感想文・学び直し（マナトレ）などを行っている。

カ 総合的な学習の時間の取り組み（パスカルタイムⅡ）

・パスカルタイムⅡと呼び、自己理解・社会人としての準備・人間関係作り・ライフスキルを深め、豊かな人間性を育成する時間として、年間計画のもと各学年が主管となり実施している。

・1年 テーマ「新しい自分を発見する」

進路講話・携帯電話使用方法・歯の健康・栄養セミナー・職業人インタビュー・交通安全講話等

・2年 テーマ「自分の適性と向き合う」

リレーション作り・インターンシップ・ボランティア・性教育講話・修学旅行・進路ガイダンス等

・3年 テーマ「進路目標達成に挑戦」

選挙講座・履歴書・志望理由の書き方・進路研究・ミニ内観・ストレスマネジメント・消費者講話等

・振り返りの時間を設ける（当日または翌朝）。

b 進路指導

キ パスカルタイムを用いて、基本的な流れを計画的に行っている。

ク 進学希望者には、朝学習において国・数・英を中心に別課題を与えて取り組ませる。早期に「できる」生徒をグループにして家庭学習をしっかりと進めさせる。

ケ 進学における小論文指導は国語科に依頼し、夏休み中の課外や授業で対応する。

コ 就職指導については、県総体終了後の6月中旬から土曜課外を実施し、その中で社会人講話や面接練習を実施している。地域振興局の斡旋での地元企業8社による講話で、地元を見直すきっかけに。

c 生徒指導

サ 前期中心に、月に1回の朝のつどい（全校集会）を実施

- ・その時期に必要な連絡事項（整容指導含む）
- ・パブリックスピーチ（生徒の体験発表）
- ・生徒の感想を雄高シェアリングコーナー（学校新聞）に載せ、全校に感想のシェアを行っている。

シ 部活動指導について

- ・初期は部活動の生徒が中心となって挨拶等を行っていたが、現在は全校で行うことが普通となった。
- ・男子バレー部は、開校から中心の部活。顧問は自分の専門を持っている。
- ・吹奏楽部や家庭クラブの活動が活発。

ス その他

- ・携帯電話については、朝SHRで預かり、帰りのHRで返却。預かりBOXを利用している。
- ・雄物川スタンダード：組織対応が大事。情報共有を心掛ける。

(3) 秋田県立湯沢翔北高等学校

訪問日時 平成29年9月27日（水）13:30～15:30

応対者 校長 佐藤 昌美 先生

教頭 佐藤 和実 先生

教務主任 山本 佳広 先生

進路指導主事 島田 順子 先生

商業科長 高橋 晃 先生

① 学校概要

湯沢市の湯沢北高と湯沢商工高が合併し、平成23年に開校した新設校である。普通科・総合ビジネス科・工業技術科それぞれ2クラスあり、女子バスケットボール部をはじめ多くの部活動で東北大会や全国大会に出場している。敷地内に県内唯一の専攻科が併設され、介護福祉科・生産技術科において専門的な学習をすることができる。ただし、専攻科と高校の交流はほとんどないとのことであった。

合併した1期入学生から、安定して国立大学等への進学実績を残しており（例年20名）、総合ビジネス科・工業技術科においても上級資格試験に合格者を出している。

湯沢地区の中学生数の減少が課題であり、来年度入学生から普通科の学級減が決定したとのことであった。

② 視察内容

i 校内見学

大学並みの立派な校舎が丁寧に使用されている印象であり、体育館アリーナの1階から4階までの吹き抜けが開放的で、普通教室から廊下を挟んで向かい側に特別教室が配置されており、少ない距離で移動が可能である。PC室が2つあり、総合実践室にもPCが配置されている。生徒は落ち着いた雰囲気です。授業を受けており、制服の立派な着こなしが印象深かった。

ii 質疑応答

a 教育課程・学習指導について

ア 普通科・総合ビジネス科・工業技術科ともに1年は共通履修で、2年からコースに分かれる。

イ 2年からのコース分けについて

- ・普通科では文系・理系（普通科文系の福祉系は教育課表にはあるが実際は選択生徒がおらず閉講）。
- ・総合ビジネス科では、流通ビジネス・情報ビジネスの2コース。
- ・工業技術科では、機械・電気の2コース。
- ・コース分けでのクラス編成については、本人、保護者との進路面談により調整を行う。

ウ 普通科について

- ・進学が主である。一般入試の合格率が向上している。入学直後から意識付けをしている。

エ 総合ビジネス科について

- ・1年で「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」の商業の基礎科目を履修。
- ・2学年からのコースにおいても、「財務会計」「原価計算」は共通で履修している。
- ・流通ビジネスコースは「マーケティング」「商品開発」学校設定科目「セールスプランニング」等が特徴
情報ビジネスコースは「プログラミング」「ビジネス情報」学校設定科目「マルチメディアデザイン」等が特徴
2つのコースの特色を明確にしている。授業ではTTが多い。
- ・検定取得の取り組み：2学年までに1級範囲から上級検定の学習に入る。
- ・生徒のボランティアで全員が地域イベント（うどんエキスポ）等へ参加しているとのこと。
- ・課題研究では、HP作成やスマホのソフト作成、動画編集などに取り組む。
- ・商業科教員は6名＋非常勤講師2名。

b 進路指導

オ 進学指導について

- ・土曜課外授業を、月1回のペースで実施（1～3年国数英で実施）。
- ・平日課外は、3年6月中旬より毎日実施（理社中心）。
- ・小論指導は、全職員で志望理由等も含めて指導者を割り当てて実施。

カ 就職指導

- ・夏休みはほぼ休みなしで登校し、就職ガイダンス等を行っている。
- ・就職支援員も面談を行い対応している。
- ・面接指導は全職員で割り当てを行い実施。